



各 地 域 へ お 伺 い す る

地 域 医 療 座 談 会 の ご 案 内

「知って安心 認知症」

～ 穏やかに暮らすための上手な付き合い方 ～

平成29年7月7日（金）に開催しました地域医療講演会には、160名という大勢の皆さんにご参加いただきました。たいへんありがとうございました。

当日は、認知症の方との上手な付き合い方について、皆さんと一緒に考える良い機会となりました。

今後は、地域医療座談会として、町立病院の医師が皆さんのお住まいの地域に出向き、膝を交えてお話をさせていただきますので、10名以上集まる機会がありましたらお気軽にお声がけください。



MY介護の広場

○講演会当日にいただいたアンケートの一部（抜粋）

- ・ 認知症は老化ではなく進化という言葉に感銘を受けました。
- ・ 自分が認知症になった時のことなので参考にします。
- ・ お話を聞いて気持ちが楽になりました。
- ・ いつも感謝の気持ちがもてるような、かわいいばあさんで老いていきたい。
- ・ 認知症の「ありのままを受け入れる」それがその人らしさを大切にした看護につながるのだと改めて学びました。

お問い合わせ先：小鹿野中央病院 地域連携室 加藤
電 話：75-2332

外来からのお知らせ

8月の休診

耳鼻咽喉科：8月10日（木）水足Dr.	整形外科：8月16日（水）関口Dr.
整形外科：8月10日（木）吉原Dr.	総合診療科：8月21日（月）内田Dr.
整形外科：8月14日（月）関口Dr.	耳鼻咽喉科：8月22日（火）荒木Dr.
眼 科：8月15日（火）竹内Dr.	総合診療科：8月23日（水）内田Dr.
総合診療科：8月16日（水）金子Dr.	耳鼻咽喉科：8月31日（木）水足Dr.
総合診療科：8月16日（水）伊藤Dr.	

※総合診療科、整形外科は複数の医師で担当しておりますので、当日の勤務医が診察を行います。



職員募集のお知らせ

職 種：看護師（正職員） 若干名
 受験資格：有資格者
 募集期間：随 時
 提出書類：履歴書・看護師免許の写し
 試験方法：作文・面接（随時実施）

職 種：介護職員（臨時職員） 若干名
 受験資格：介護職員初任者研修修了者
 （旧ホームヘルパー2級）
 募集期間：随 時
 提出書類：履歴書・修了証の写し
 試験方法：面接（随時実施）

⑤ のぶえさんとあやこさん（その1） 「大丈夫！」

暑いですね。本当に暑いです。この病院だよりも皆様のもとに届く頃には、少しは雨が降って水不足も解消されているでしょうか…。

さて、今回からしばらくの間「のぶえさん」と「あやこさん」親子のことを書いてみたいと思います。私が以前勤めていた病院で担当していた、認知症ののぶえさん（当時 88 歳）と介護されている娘のあやこさんの話です。5 年ほど関わらせていただき、今でも連絡を取り合っています。あやこさんは「いつでも私のことをネタにして」とおっしゃってましたのでリクエストにお答えします（笑）。

若い頃ののぶえさんはとても働き者で、ヘルパーとして長い間町内を飛び回っておりました。そんなのぶえさんも 80 歳を過ぎて私の外来に通院していましたが、ある時あやこさんから「認知症が気になる」と相談を受けました。いつもの診察の中では特に問題はなく、一見したら認知症には見えません。しかし普段の家庭での様子を聞くと確かにあやしい。実際に認知症のテストをしてみると、なるほど記憶力などの障害がみられました。ということでさっそく認知症の診断で薬をはじめることになりました。

娘さんのあやこさんはとても行動派です。いつもののぶえさんをあちこち連れ回しています（連れ回すっていう表現…あやこさん、ごめんなさい）。周囲の方からも、「のぶえさんは幸せだよ。あやこさんがいつも面倒見てくれて」と言われるようです。私も、いつも楽しそうにのぶえさんを連れ回しているあやこさんを見てみると、老後の幸せのいいモデルの一つとしてとらえていました。

ところがあやこさん曰く「母は幸せではないと思う。父が他界した後 35 年以上一人暮らしで自由に過ごせていたのに、その自由を奪って私が邪魔をしているみたい。でも母を一人にはできないので…私も大変よ」と。

私たちは普段、良かれと思って行動します。また、相手のためになっているだろうと思ってやったことが、実は相手を傷つけているかもしれないと感じることはあまりありません。しかし、あやこさんはお母様のために良かれと思ってやっていることでも、逆に嫌な思いをさせているかもしれないと感じていました。なかなかすごいセンスの持ち主だなあと感心させられました。

人は一人では生きていきません。きっと皆さんもそう感じることはあると思います。困ったときに、「大丈夫、何とかなるよ」と言われると救われることってありますよね。そんな中、最近いい言葉に出会いました。自己啓発作家の「ひすいこたろうさん」の言葉です。

「大丈夫」という字をよくみてください。

「大」「丈」「夫」それぞれ「人」という字が入っています。

あなたに何かあったとき、周りの人は必ずあなたを支えてくれます。

どんなときも、あなたの味方は三人います。

そうなんです。私たちは一人では生きていけない。時には誰かを支え、時には誰かに支えられて生きています。私も歳をとってわからなくなったときに、いろんな人に支えられて生きていくんだろうな。というか、今でもみんなに支えられています。そんなことを気づかせてくれたあやこさんに感謝！

あらためてのぶえさんのことを思うと、あやこさん、やっぱりのぶえさんは幸せだと思いますよ。私もいつかわからなくなったとき、妻や子供たちにいろいろ連れ回されたい。



総合診療科 医師 内田 望

☆ 年に一度は「人間ドック」を受けましょう ☆

お問い合わせ：総合健診センター（病院内）

直通電話：72-7510



〈発行〉 国保町立小鹿野中央病院 〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地

電話（代表）0494-75-2332 FAX 0494-75-3313

〈ホームページ〉「国保町立小鹿野中央病院」で検索、または「小鹿野町」のホームページからどうぞ。